

医療の質・安全学会 第2回学術集会 & 国際シンポジウム 会場別プログラム

第1日 11月23日(祝・金)

— 第1会場・第2会場 ホールB7(1)・ホールB7(2) —

■ 9:15~9:35 開会の辞、挨拶

文部科学省大臣官房	審議官(高等教育局担当)	土屋 定之
厚生労働省大臣官房	参事官	岡本 浩二
医療の質・安全学会	理事長	高久 史磨

■ 9:40~10:10 会長講演

「21世紀の医療と医療システムを求めて」

PL-1 21世紀の医療と医療システムを求めて

東北大学大学院医学系研究科 教授 上原 鳴夫

■ 10:20~11:30 鼎談

「医療の不確実性と患者安全」

T-1 医療者と患者の意識差を埋めるもの

ノンフィクション作家、評論家 柳田 邦男

T-2 医療の不確実性と患者安全

国立がんセンター中央病院 病院長 土屋 了介

T-3 医療の不確実性：質と安全を決定するパラダイム

聖路加国際病院 院長 福井 次矢

— 第1会場 ホールB7 (1) —

■ 12:30~13:30 教育セミナー(1)

「米国における患者安全の取組み—臨床と医学教育の現場から—」

司会 東京大学医学教育国際協力研究センター 教授 北村 聖

ES1-1 米国における患者安全の取組み—臨床と医学教育の現場から—

ピッツバーグ大学内分泌代謝内科 准教授 赤津 晴子

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

■ 13:40~17:20 シンポジウム1

「岐路に立つ医療—「崩壊」から再建へ」

<第一部> 医療は崩壊するか? 13:40~14:30

司会 東北大学名誉教授／宮城県医療顧問／財団法人宮城県対がん協会会長 久道 茂

SY1-1 崩壊への要因

虎の門病院 泌尿器科部長 小松 秀樹

SY1-2 地域医療が崩壊している

社団法人 全国自治体病院協議会 会長 小山田 恵

SY1-3 健康保険制度改革と医療

慶應義塾大学経済学部 教授 金子 勝

<第二部> 質と安全確保のために、医療業務体制と労働環境はいかにあるべきか 14:30~15:30

司会 慶應義塾大学看護医療学部 教授 嶋森 好子

財団法人労働科学研究所 常務理事 所長 酒井 一博

SY1-4 産婦人科医の労働状況と救急医療体制

日本医科大学 産婦人科 教授 中井 章人

SY1-5 小児科医の業務体制と労働環境

大阪市立住吉市民病院 副院長・小児科部長 舟本 仁一

SY1-6 集中治療室（ICU）の診療体制と診療パフォーマンス

京都大学大学院医学系研究科医療経済学分野 助教 林田 賢史

SY1-7 看護職の定着をめざす職能

社団法人日本看護協会 看護職確保定着推進戦略プロジェクト 次長 奥村 元子

<第三部> 地域医療システムの質と再建の課題 15:40~17:20

司会 日本放送協会 チーフディレクター 迫田 朋子

SY1-8 医療経済から見た医療の質・安全

京都大学大学院経済学研究科 教授 西村 周三

SY1-9 ジェネラリストの役割

社団法人 地域医療振興協会 公立黒川病院 管理者 山田 隆司

全体討議

パネリスト：金子 勝、西村 周三、山田 隆司、久道 茂、嶋森 好子

— 第2会場 ホールB7 (2) —

■ 12:30～13:30 教育セミナー(2)

「抗がん剤の安全な取り扱い（医療者の被曝対策を考える）」

司会 群馬大学大学院医学系研究科薬効動態制御学（臨床薬理学）教授／医学部附属病院薬剤部長
堀内 龍也

ES2-1 抗がん剤の安全な取り扱い（医療者の被曝対策を考える）

市立堺病院 薬剤科 部長 阿南 節子

共催：カルメル・ファルマ・ジャパン株式会社

■ 13:40～15:20 ワークショップ1

「医療安全の観点から見た health professionals の人材育成」

司会 東京医科大学霞ヶ浦病院 院長 松岡 健
聖路加看護大学 学長 井部 俊子

WS1-1 医師養成課程における医療安全の位置づけ

東京大学医学教育国際協力研究センター 教授 北村 聖

WS1-2 卒前・卒後教育における医療安全教育

大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部 部長 中島 和江

WS1-3 歯学部、歯科医師臨床研修における医療安全教育の現状

日本歯科大学附属病院 教授・病院長 住友 雅人

WS1-4 看護師養成課程における医療安全教育

東京医療保健大学 医療保健学部看護学科 学科長 坂本 すが

WS1-5 多職種による医療安全教育カリキュラム開発モデル

国立保健医療科学院政策科学部 安全科学室長 種田憲一郎

WS1-6 医療安全教育の方向性

京都大学大学院医学研究科 医学教育推進センター 講師 森本 剛

特別発言

ピッツバーグ大学内分泌代謝内科 准教授 赤津 晴子

■ 15:30～17:20 ワークショップ2

「医療事故の類型と調査分析の方法」

司会 京都大学医学部附属病院 医療安全管理室 医療安全管理室長 長尾 能雅
名古屋大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 准教授 相馬 孝博

WS2-1 京大病院の医療事故調査の検討

京都大学医学部附属病院 医療安全管理室 医療安全管理室長 長尾 能雅

WS2-2 航空事故に対する防止対策

航空・鉄道安全推進機構 理事 杉村 守

WS2-3 医療事故の外部調査から

JR 東京総合病院 名誉院長 古瀬 彰

WS2-4 M&M (Morbidity & Mortality) カンファレンスについて

名古屋大学大学院医学系研究科 救急・集中治療医学講座 准教授 高橋 英夫

WS2-5 医療安全とモデル事業

東京大学大学院法学政治学研究科 教授 樋口 範雄

— 第3会場 ホールB5 (1) —

■ 11:40~12:30 特別報告1

「院内感染の現状と対策」

司会 東京医療保健大学大学院 感染制御学 教授 大久保 憲

SR1-1 院内感染の現状と対策

名古屋大学大学院医学系研究科 機能構築医学専攻 救急・集中治療医学 教授 武澤 純

■ 12:30~13:30 教育セミナー(3)

「より安全な医療を目指して～携帯情報端末を用いた医療安全の構築—病棟に於ける取り組みを中心に—」

司会 山形県立中央病院 内科・医療情報部 副部長 間部 克裕

ES3-1 より安全な医療を目指して～携帯情報端末を用いた医療安全の構築—病棟に於ける取り組みを中心に—

京都第二赤十字病院 消化器科 副部長 田中 聖人

共催：オリンパスメディカルシステムズ株式会社

■ 13:40~14:50 一般演題①

座長 九州大学大学院医学系学府医療システム学 教授 信友 浩一

O-01 医療安全対策の策定：トップダウンからボトムアップへ

黒部市民病院 医療安全管理室 石田みどり

O-02 産業振興で推進するヘルスケアの質向上 —仙台フィンランド健康福祉センタープロジェクト

仙台市産業振興事業団 坂井 愛子

O-03 戦略マネジメントシステムとしてのバランス・スコアカードを活用したコミュニティヘルスケアシステムの構築

国立保健医療科学院経営科学部 熊川 寿郎

O-04 看護職者が関与した医療事故事例の分析 — 2001年から2005年に判決があった医療過誤判例に焦点をあてて—

群馬県立県民健康科学大学 相楽 有美

O-05 医療の質・安全確保における薬事委員会の役割

西淀病院医療安全管理室 河瀬 留美

O-06 臨床検査技師による中央採血室での安全管理

川崎医科大学附属川崎病院中央検査部 宗友 敏恵

O-07 インシデント報告運用システムが報告件数に及ぼす効果

京都大学大学院医学研究科医療経済学分野 福田 治久

■ 15:00~16:00 一般演題②

座長 武蔵野赤十字病院 看護部長・専従リスクマネジャー 杉山 良子

O-08 看護職用エラータイプ診断尺度の開発

立教大学現代心理学部 芳賀 繁

O-09 「専任リスクマネジャーの職務態度測定尺度」の開発 (1) —心理的特性の評価—

宮崎大学医学部附属病院 医療安全管理部 甲斐由紀子

O-10 「専任リスクマネジャーの職務態度測定尺度」の開発 (2) —専任リスクマネジャー・事務職員・医事系課長の比較—

宮崎大学医学部附属病院 医療安全管理部 甲斐由紀子

O-11 医療従事者版失敗価値尺度の開発 —信頼性と妥当性の検討—

九州大学大学院人間環境学府 三沢 良

- O-12 医療従事者版失敗価値尺度の精緻化 ―失敗に関する価値観と安全パフォーマンスの関連―
九州大学大学院人間環境学府 三沢 良
- O-13 患者アンケートより医療者の確認行動の経年変化を評価する
(財)倉敷中央病院 山室美恵子

■ 16:10～17:20 一般演題③

- 座長 倉敷中央病院 医療安全管理室担当 米井 昭智
- O-14 周術期における下肢深部静脈血栓症の予防に対する取り組み
京都きづ川病院 大西ひとみ
- O-15 医療安全への呼吸療法サポートチーム（RST）の役割
公立陶生病院呼吸療法サポートチーム 長谷川隆一
- O-16 Hazard and Operability (HAZOP) 法を用いた医療リスクのプロセス分析とリスク回避：誤嚥性肺炎リスクへの応用
東京医科歯科大学臨床教育研修センター 山脇 正永
- O-17 東京大学医学部附属病院における腹部領域の医療の質に関する研究
東京大学医学部附属病院 村井佐知子
- O-18 X線画像上におけるX線造影糸入りガーゼの検出能に関する研究
滋賀医科大学医学部附属病院 放射線部 今井 方丈
- O-19 医療機器メーカー各社と医療安全管理者の情報交換・共有に関する調査報告
立川メディカルセンター立川総合病院 樋口 敦子
- O-20 電動式パワーアシスト付適温配膳車の安全性について
磐田市立総合病院 平野 一美

— 第4会場 ホールB5 (2) —

■ 11:40~12:30 特別報告2

「医療従事者の勤務環境に関する調査報告：実態と国際比較」

司会 慶應義塾大学 看護医療学部 教授 嶋森 好子

SR2-1 日本における医師の勤務実態—既存調査のまとめ

東北大学大学院医学系研究科腫瘍外科学分野 准教授 藤盛 啓成

SR2-2 看護師の労働環境—リンダ・エイケンとの国際共同研究から—

東京女子医科大学看護学部 教授 金井 Pak 雅子

■ 12:30~13:30 教育セミナー(4)

「カテラボのベストプラクティス」

司会 大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部 病院教授 中島 和江

ES4-1 カテテル室での業務改善による標準フローの検討

特定医療法人 雪ノ聖母会 聖マリア病院 中央診断治療センター 臨床放射線室 川島 晶子

ES4-2 カテテル検査・治療トレーニングの実践

財団法人厚生会 仙台厚生病院 循環器科 主任部長 井上 直人

共催：テルモ株式会社

■ 13:40~14:50 一般演題④

座長 杏林大学保健学部 救急救命学科 教授 川村 治子

O-21 ベッドサイドでの転倒転落防止の試み

竜操整形外科病院 黒川久美子

O-22 転倒転落ハイリスク患者を予測する（仮説第二報）

山形県立河北病院 多田 敏彦

O-23 転倒・転落アセスメントスコアの有用性を検討する —血液疾患・内分泌代謝疾患を対象として—

北里大学病院 田久保美千代

O-24 転倒・転落アセスメントシートの妥当性の評価と改良

愛知医科大学病院 看護部 石橋ひろ子

O-25 ベッドサイドシステムを用いた転倒・転落防止への試み

特定医療法人社団 高橋病院 工藤 泰央

O-26 転倒転落の発生する日を予測する（仮説第一報）

山形県立河北病院 多田 敏彦

O-27 転倒発生率と患者リスク・看護人員配置・予防対策および費用の関連の検討

愛知県立看護大学看護管理学 飯島佐知子

■ 15:00~15:40 一般演題⑤

座長 国際医療福祉大学 小林 美亜

O-28 腹部大動脈瘤切除術クリニカルパスにおけるバリエーション分析

医療法人立川メディカルセンター立川総合病院 佐藤 直美

O-29 クリニカルパス：標準化したいのは「日程」ではなく「指示内容」

倉敷中央病院 桑門 克治

O-30 安全確認行動の推進 —確認不足解消に向けて—

静岡県立こども病院 看護部・医療安全室 黒木久美子

O-31 入院時オリエンテーションの標準化

群馬県済生会前橋病院 橋本明日香

■ 15：50～16：30 一般演題⑥

座長 厚生連 佐久総合病院 診療部長 伊澤 敏

O-32 入院時初期看護計画への患者参画の取り組み

順天堂大学附属順天堂医院 関根 聡実

O-33 当院のインフォームド・コンセントのシステム化への取り組み 導入一年間の評価と今後の課題

産業医科大学病院医療安全管理部 今永たか子

O-34 患者、患者家族のリスクマネジメント

国立成育医療センター研究所 絵野沢 伸

O-35 患者の持つ「治療リスク楽観性」とは何か ～ 患者視点のリスクコミュニケーションへ向けて

東京工業大学大学院社会理工学研究科 平原 憲道

■ 16：40～17：30 一般演題⑦

座長 東京大学医学部附属病院 医療安全課センター 医療安全対策センター長 原田 賢治

O-36 医療機関の管理者における医療安全管理者への権限委譲

国立保健医療科学院 政策科学部 石川 雅彦

O-37 看護職リスクマネージャーのパワーとその要因—医療安全管理者養成研修、専任か兼任、経験年数との関連を中心として—

島根大学医学部看護学科 内田 宏美

O-38 医療安全管理者研修に関する実態とその効果について～医療安全管理者の認識調査から～

国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 看護学科 小林 美亜

O-39 報告制度の充実を目的としたリスクマネージャー研修の効果

医療法人社団 愛心会 湘南鎌倉総合病院 山本 幸恵

O-40 愛知県医師会における苦情相談センターの取り組み

医療法人勝又病院 勝又 一夫

— 第5会場 G502 —

■ 11:40~12:30 特別報告3

「質不良のコストと質・安全に必要な財務基盤」

司会 国際医療福祉大学 教授 池田 俊也

SR3-1 質不良のコスト

国際医療福祉大学 教授 池田 俊也

SR3-2 質と安全；測定可能性と支払評価の壁

東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻 教授 橋本 英樹

■ 12:30~13:30 ワーキンググループ会議

「医療の質・安全の向上をめざす学際共同研究の推進」

司会 法政大学社会学部 原田 悦子

■ 13:40~15:20 ワークショップ3

「医療事故被害救済制度のあり方」

司会 九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座 准教授

鮎澤 純子

日本看護協会出版会 「看護職賠償責任保険制度」サービス推進室長 平林 明美

WS3-1 「無過失補償制度」の理念

昭和大学医学部産婦人科学教室 主任教授 岡井 崇

WS3-2 医療被害防止・救済センター構想

栄法律事務所 弁護士 加藤 良夫

WS3-3 医療事故情報収集等事業と最近の話題

財団法人日本医療機能評価機構 医療事故防止センター 医療事故防止事業部長 後 信

■ 15:30~17:20 ワークショップ4

「医療機関における質管理システムと組織体制」

司会 東京大学大学院工学系研究科 教授 飯塚 悦功

WS4-1 質・安全推進のための組織管理体制と評価

前田建設工業株式会社 総合企画部 部長 村川 賢司

WS4-2 武蔵野赤十字病院がめざす質管理システム

武蔵野赤十字病院 呼吸器外科 部長 矢野 真

WS4-3 TQM 活動における病院組織の構造化

株式会社日立製作所 水戸総合病院 院長 永井 庸次

WS4-4 DPC と医学の質

産業医科大学公衆衛生学 教授 松田 晋哉

■ 17:30~19:00 特別セミナー

「Leadership for Patient Safety」 ※英・日逐次通訳有り

司会 President, All Japan Federation of Social Insurance Associations Masaharu Ito

SS-1 Leadership for Patient Safety

Former Senior Clinical Advisor, Centers for Medicare & Medicaid Services Stephen F.Jencks

— 第 6 会場 G602 —

■ 17：30～19：30 医療安全管理者ネットワーク会議

進行	全国社会保険連合協会本部	木村 眞子
運営	武蔵野赤十字病院	杉山 良子
	慶應義塾大学	浦澤 智佐

● あいさつ

慶應義塾大学	ネットワーク委員会委員長	嶋森 好子
--------	--------------	-------

● 各団体等の医療安全管理者のネットワークの現状と期待

大阪大学医学部附属病院	中島 和江
大阪大学医学部附属病院	團 寛子
聖路加国際病院	寺井美峰子
日本看護協会	佐々木久美子

● 医療の質・安全学会医療安全管理者ネットワーク・その意義と役割

ー ベストプラクティス報告 展示会場 G503-G505、G507-G508 ー

■ 11：40～12：30 ベストプラクティス報告展示会場 1 G503

- | | | | | |
|-------|---|------------------|---------|-------|
| BP-01 | 放射線機器の保守点検の取り組み | 埼玉県立循環器・呼吸器病センター | 放射線技術部 | 諸澄 邦彦 |
| BP-02 | 申し送りの廃止から得た効果 | 群馬県済生会前橋病院 | 小林 理恵 | |
| BP-03 | 当院における BSC への取り組み | 仙南病院 | 早坂 弘人 | |
| BP-04 | 医療メディエーションと院内安全管理体制 | 福井総合病院 | 辻 哲朗 | |
| BP-05 | 医療メディエーションスキルの有用性の検討 | 財団法人新田塚医療福祉センター | 福井総合病院 | 林 里都子 |
| BP-06 | 医療安全の問題の改善および解決に向けての「立案シート」の効果 | 中国電力株式会社 | 中電病院 | 堂西 和子 |
| BP-07 | リキャップ廃止への取り組み | 群馬県済生会前橋病院 | 小林 久乃 | |
| BP-08 | 手術室における 5S | 群馬県済生会前橋病院 | 曾根なぎさ | |
| BP-09 | 一次処理の中央化を目指して ー派遣社員による QC 活動への取り組みー | 群馬県済生会前橋病院 | 大竹 雅枝 | |
| BP-10 | 病院情報システムを活用した行動制限（身体拘束・抑制）の評価と管理 | 北摂総合病院 | 糸島 輝美 | |
| BP-11 | 患者誤認防止強化ー顔写真入診察券に対する職員患者の認識と作成・活用の実態調査ー | 筑波学園病院 | 加藤美恵子 | |
| BP-12 | 臨床検査におけるインシデントと安全管理向上に関する試み | 昭和大学藤が丘病院 | 中央臨床検査部 | 及川 佳恵 |
| BP-13 | 目標管理の可視化でチーム力を高める | 順天堂大学附属順天堂医院 | 看護部 | 小澤 直子 |

■ 11：40～12：30 ベストプラクティス報告展示会場 2 G504

- | | | | | |
|-------|--|-------------------|---------|-------|
| BP-14 | 電動式パワーアシスト付適温配膳車による骨折事故後の改善策について ー教育方法の検討ー | 磐田市立総合病院 | 平野 一美 | |
| BP-15 | 事故想定訓練による安全管理研修 | 財団法人倉敷中央病院 | 医療安全管理室 | 橋本 徹 |
| BP-16 | PS 活動の推進に向けた取り組みー部署内リーダーの養成と成果ー | 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 | 市村真理子 | |
| BP-17 | リスクマネージャーの質保証を目指した養成講座の取り組み | 亀田総合病院 | 高橋 静子 | |
| BP-18 | 透析施設における、e ラーニングを用いた安全管理教材作成の試み | 医療法人真鶴会 | 小倉第一病院 | 石川 俊幸 |
| BP-19 | トレーニングラボを活用した安全教育の取り組み | 鳥取県立中央病院 | 大西 益美 | |
| BP-20 | 病棟における医療安全教育の取り組み業務カンファレンスに TBM-KY を取り入れて | 久里浜アルコール症センター | 川端 恵 | |

- BP-21 患者・家族・一般の人も参加した院内研修を通じて、医療者のコミュニケーション・対話力を向上させる試み
新葛飾病院 豊田 郁子
- BP-22 医療機器安全使用のための講習会資料「持続的血液ろ過 (CHF)・持続的血液透析ろ過 (CHDF) を安全に施行するために」を作成して
北里大学病院 ME センター 血液浄化部門 藤原 康作
- BP-23 異型輸血防止教材ビデオの 1 例
国立国際医療センター 清水 利夫
- BP-24 血液浄化療法中の急変時シミュレーション教育ー BLS・ALS トレーニングは血液浄化療法中の急変時に有効かー
臨床工学部 血液浄化療法室 CE 管理科 柴田 奈美
- BP-25 新人看護師静脈注射トレーニング画像撮影の有用性とインシデント発生
東京北社会保険病院 医療安全管理室 山元 恵子
- BP-26 Surgical Site Infection (SSI) のシミュレーション学習プログラム
獨協医科大学越谷病院 救命救急センター 杉木 大輔
- BP-27 医歯学シミュレーション教育システムによる針刺し事故の対応に関する院内安全管理教材の開発
東京医科歯科大学 附属図書館 メディア情報部 須永 昌代
- BP-28 医療安全のための教育用 DVD、e ラーニングシステム、ポケットマニュアルなどのツールの開発と、部署別研修での活用
東京大学医学部附属病院医療安全対策センター 原田 賢治
- BP-29 e-Learning を使った病院職員向け医療安全管理教育
横浜市立大学附属市民総合医療センター 医療情報部 古川 政樹

■ 11:40~12:30 ベストプラクティス報告展示会場 3 G505

- BP-30 オーダ薬品マスタの設定マニュアルの作成と利用
埼玉県総合リハビリテーションセンター薬剤科 鈴木 清志
- BP-31 医薬品 SPD 導入に伴う定数配置薬の標準化への取り組み
産業医科大学病院 看護部 上中香代子
- BP-32 安全な内服投与を目指して～プロセスの標準化～
新日鐵広畑病院 濱中 努
- BP-33 小児科散剤分包フィルムへの印字の開始
横須賀市立うわまち病院 米久保亜季
- BP-34 「入院時患者持参薬管理の手順」について実施した内部監査の効果
独立行政法人労働者健康福祉機構 長崎労災病院 山口 智春
- BP-35 入院患者における持参薬の適正使用システム
県西部浜松医療センター 石津 直樹
- BP-36 離床センサー使用による転倒防止の取り組み
順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院 幅下 貞美
- BP-37 運動障害評価結果の看護師・理学療法士間の比較検討ー転倒転落アセスメントシートを用いてー
磐田市立総合病院 内田 敏男
- BP-38 医療 HAZOP (Hazard And Operability) 分析から導かれた転倒・転落防止対策ー転倒・転落防止のためのガイドラインの効果ー
東京医科歯科大学医学部附属病院 安全管理対策室 小松 佳子
- BP-39 転倒転落アセスメントの変更と転倒予防センサーの有効な活用で転倒防止
社団法人信和会京都民医連第二中央病院 医療安全管理室 岡部喜美栄
- BP-40 がん化学療法プロトコール管理システムの構築
東京北社会保険病院薬剤部 池田 敦

- BP-41 医薬品提供に関する職種横断的医療安全管理を目指した疑義照会データベースの活用
霧島市立医師会医療センター薬剤部 岸本 真
- BP-42 外来がん化学療法における患者への分かり易い情報提供ツールの開発
大阪市立総合医療センター薬剤部 中尾 将彦
- BP-43 高齢者急性期病院における転倒リスク評価と転倒対策の効果
国立長寿医療センター 奥泉 宏康
- BP-44 NDP（医療のTQM実証プロジェクト）「転倒・転落対策のガイドライン」
岩国市医療センター医師会病院 土田 聖司
- BP-45 対象者のタイプに応じた看護計画立案による転倒防止対策 転倒転落防止マニュアルの作成
榛原総合病院 増田伊佐世

■ 11：40～12：30 ベストプラクティス報告展示会場 4 G507

- BP-46 ネブライザーを使用した吸入療法に関する安全管理の取り組み
横浜市立市民病院 平井 純子
- BP-47 人工呼吸器装着に関する同意取得状況
黒部市民病院医療安全管理室 辻 博
- BP-48 看護師の確認行動による医療安全確保の検討
日本赤十字看護大学 酒井美絵子
- BP-49 当院における深部静脈血栓症 / 肺塞栓症予防の取り組み ―がんばらない予防をめざして―
東北大学病院 移植・再建・内視鏡外科 後藤 均
- BP-50 手術患者の右・左間違い防止タグ（みぎはミドリ、ひだりはピンク）と、手術の質・安全性向上を考慮した手術用覆布
弘前記念病院 高橋 敏
- BP-51 安全なトイレを目指して（医療機関と企業の連携）
埼玉社会保険病院 齋藤 晶
- BP-52 持続点滴中の乳幼児が安全に移動できる固定器具の工夫 ―ベビーバギーと支柱台との間に固定器具を使用―
大阪大学歯学部附属病院 池 美保
- BP-53 入院糖尿病管理における質・安全・簡便性確保（1）指示法・スライディングスケール法と血糖記録表の統一化
防衛医大 内科 田中 祐司
- BP-54 入院糖尿病管理における質・安全・簡便性確保（2）インスリン注射・血糖測定を行うスタッフへの統一マニュアル作成
防衛医科大学校病院医療安全推進室 白尾 聡子
- BP-55 入院糖尿病管理における質・安全・簡便性確保（3）静注用インスリンの安全・簡便な管理・運用法の開発
防衛医科大学校病院医療安全推進室 白尾 聡子
- BP-56 誤認手術防止に対する当院の取り組み ―指差し呼称を組み込んだ Time Out
倉敷中央病院 医療安全管理室 沈 正樹
- BP-57 気管挿管時における歯牙損傷の防止対策
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 麻酔・生体管理学分野 宮本 智行
- BP-58 高齢者大腿骨頸部骨折を予防する新しいヒッププロテクターの開発
関西医科大学附属枚方病院 小室 元
- BP-59 X線CT撮影時における被ばく低減用具の作製 ―患者固定ベルトの改造―
労働者健康福祉機構 横浜労災病院 中央放射線部 佐川 良
- BP-60 入院患児に対する術前プレパレーション・ツール “Smile”
拓殖大学工学部感性デザイン研究室 岡崎 章

BP-61 虚弱高齢者の転倒骨折予防の対策－新しいヒッププロテクターの装着感の検討
関西医科大学附属枚方病院 整形外科 小室 元

■ 11:40～12:30 ベストプラクティス報告展示会場 5 G508

BP-62 手術合併症の原因分析における HAZOP の応用
東京医科歯科大学大学院臨床医学教育開発学 大川 淳

BP-63 根本原因分析法（RCA）を用いた院内合同カンファレンス
沖縄県立中部病院 比嘉真利子

BP-64 歯科治療時のインシデント分析のためのオンライン収集システムの開発
鶴見大学歯学部歯科麻酔学教室 深山 治久

BP-65 ヘルスケア情報をピクトグラムで
東邦大学医学部看護学科 横井 郁子

BP-66 病棟におけるインシデント・アクシデントレポートを活かす取り組み
大阪赤十字病院 竹村久美子

BP-67 デルファイ法を応用して作成した「リスクの重大さの判定基準」と「リスク認知力判定テスト」による職員のリスク認知力の向上
国立保健医療科学院経営科学部 熊川 寿郎

BP-68 PDA を使用した注射実施によるオカレンス内容の変化
福井大学医学部附属病院 大北美恵子

BP-69 同一場面で実施した 1 人 KYT とグループ KYT の比較
東北大学病院 西 3 階病棟（重症病棟部） 庄子 由美

BP-70 更新が容易な安全手帳 ー差し替え可能な試みー
佐久総合病院 竹内 玲子

BP-71 リスク感性を高めるための「病棟ラウンド+KYT」の取り組み
独立行政法人労働者健康福祉機構 長崎労災病院 山口 智春

BP-72 第 1 回救命救急・日米シミュレーション医学教育合同シンポジウムの報告
獨協医科大学越谷病院 救命救急センター 池上 敬一

BP-73 根本原因分析と裁判外紛争処理の手法活用による医療安全への取り組み
市立敦賀病院 塚原 洋子

BP-74 医療事故防止マニュアル「安全博士」
昭和大学藤が丘病院 柴田 雅子